

【調整方針】
 自分たちの分科会の範囲の提言であるが、他分科会の考えを加えて完成させる必要がある
 自分たちの分科会で作成はしたものの、他分科会の範囲に移行した方がよい
 自分たちの分科会の範囲にも、他分科会の範囲にも別記した方がよい

一連No.	分科会ごとの整理番号	分科会	提言件名	関連する他分科会				調整方針	共通すると考える理由
				みんな	生・共	教・学	まち		
7	1-7	みんなで担う公共と協働	相互コミュニケーションの充実と戦略的情報発信						No.32(2-18) 点字・音声による広報「はちおうじ」の発行 No.87(4-7)情報の効果的な伝達
15	2-1	生活・共助	(全員参加のコミュニティ) 町内自治会と共助活動で支え合い						内容が類似しているため
18	2-4	生活・共助	(全員参加のコミュニティ) 地域支え合いの拠点と住民による支え合いシステムをつくる 地域情報ネットワーク						市民活動のための情報という部分で似ている
19	2-5	生活・共助	(全員参加のコミュニティ) 外国人住民と地域住民の交流						内容が教育寄りであるため、教・学に協力を求める。
22	2-8	生活・共助	(全員参加のコミュニティ) 現役世代の地域活動への取り込み						生涯教育という部分で似ている
23	2-9	生活・共助	(全員参加のコミュニティ) 単身世帯への対応						内容がまちづくりに深くかかわることであるため
25	2-11	生活・共助	(未来をつくる・子ども) 個々の地域に応じた柔軟で強力な支援体制を						そもそも、「学校・教育」は、子どもにかかわる「生活・共助」の一部として、子どもの生活全般の一部分に位置付くものである。また、乳幼児期から連続している「育ち」の一部分でもある。つまり、生まれてから学童期を過ぎるまでの間、家庭、地域、専門機関(保育園・幼稚園・学校・学童・児童館など)全体で、「子どもの何を育てるのか」について、一貫性(共通理解)がなくては、子どもたちの生活は場所や時期でバラバラになってしまう。そのためには、本来、「子ども」にかかわる全ての分野は、一体的に議論すべきものである。
26	2-12	生活・共助	(未来をつくる・子ども) 子どもの学びの場・遊びの場・やすらぎの場を(1)						2-11と同じ
27	2-13	生活・共助	(未来をつくる・子ども) 子どもの学びの場・遊びの場・やすらぎの場を(2)						2-11と同じ
28	2-14	生活・共助	(未来をつくる・子ども) 子ども中心の生活・社会環境を						2-11と同じ
29	2-15	生活・共助	(未来を作る・子ども) 家庭でも社会でも子ども自身が安心できる環境を						2-11と同じ
34	2-20	生活・共助	(暮らしやすさ 高齢者・障害者・外国人・男女共同) 外国人市民に対する防災・災害対応						外国人市民への要援護者として一体で考えるべきか、災害時の外国人の位置づけを検討していただきたい
37	2-23	生活・共助	(暮らしやすさ 高齢者・障害者・外国人・男女共同) 外国人市民の日本語支援、外国籍等の児童の日本語・学習支援						外国人の日本語支援という観点からも議論していただきたい。
43	2-29	生活・共助	(暮らしやすさ 高齢者・障害者・外国人・男女共同) 身近な居場所(地域の支え合いの拠点)づくり						市民参加の機会としての町会自治会を含む地域の支え合いの在り方について検討していただきたい
49	2-35	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 健康を守り、育てる支援体制づくり						健康づくりの環境を整えるための道路整備が必要(4-4と関係)
50	2-36	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) コミュニティ・サイクル・システム(CCS)都市、構築宣言						本来は生活共助分科会(健康増進)だが、道路整備・商店街・大学などを絡めることの要素が高いと判断。健康づくりの環境を整えるための道路整備が必要(4-4と関係)
53	2-39	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 医療体制の整備						教育・学習分科会にて健康維持、医療機関受診について学校教育に加えることを検討する必要あり
54	2-40	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 医療情報・リハビリ・介護機器開発センターの設立						産業界やまちづくりを巻き込んだ総合的な施策が必要
57	2-43	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 市としての雇用支援の職業訓練制度創設						雇用ニーズの反映と雇用拡大促進のためには活力ある産業への施策が不可欠
58	2-44	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 市民が利用しやすい総合相談支援センターの設立						雇用ニーズの反映と雇用拡大促進のためには活力ある産業への施策が不可欠
59	2-45	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 市民へ向けた行政サービス(特に社会保障制度)のすみやかな情報公開と情報保障						

一連No.	分科会ごとの整理番号	分科会	提言件名	関連する他分科会						調整方針	共通すると考える理由
				みんな	生・共	教・学	まち	産業	環境		
60	2-46	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 災害対策関連協定の見直し(遠隔地都市との防災相互支援構想)								'28の安全で安心なまちづくりそのもの。ここでは大災害時における人命救助の観点で取り上げた。防災の視点
61	2-47	生活・共助	(安全・健康 医療、ライフライン、治安、健康増進、社会保障等) 防犯・治安運動の統一性の強化								自主防災のありかたを検討する可能性あり。防災の視点
63	3- 1	教育・学習	学1 一人ひとりを大切に考える教育								
68	3- 6	教育・学習	学6 家庭教育力の向上(生活力と学習力)								
72	3-10	教育・学習	生2 生涯学習の環境を整備する								
75	3-13	教育・学習	文2 八王子歴史博物館の創設								
76	3-14	教育・学習	文3 伝統文化の継承と新時代の文化の創造								
77	3-15	教育・学習	文4 文化交流の推進と協力関係の構築								
78	3-16	教育・学習	文5 新しい市民文化と芸術を創造する人づくり								
79	3-17	教育・学習	他1 東日本大震災以後の八王子市防災計画の強化策								
80	3-18	教育・学習	他2 新しい公共と「市民会議」によるフォローアップ								
84	4- 4	まちづくり	自転車の活用推進								No.50(2-36)自転車の活用 No.97(5-4),No.99(5-6)レンタル自転車の活用
85	4- 5	まちづくり	【安全・安心社会の実現】 防災体制(事態対処体制)の充実								No.34(2-20),No.60(2-46),No.61(2-47) 防災・防犯に関する視点について No.79(3-17)防災に関する視点
87	4- 7	まちづくり	【安全・安心社会の実現】 災害時の情報共有体制の充実								No.34(2-20),No.60(2-46),No.61(2-47) 防災・防犯に関する視点について No.79(3-17)防災に関する視点
89	4- 9	まちづくり	地域ごとの特徴を活かしたまちづくりを								No.25(2-11)地域でのまちづくり No.69(3-7)
90	4-10	まちづくり	水系を基本としたまちづくりを								No.115(6-10)No.116(6-11)河川について、湧水の保全等
92	4-12	まちづくり	昭和の歴史薫る緑豊かな活気ある中心市街地								No.99(5-6)中心市街地の活性化
93	4-13	まちづくり	地域力強化等ソフト面からのまちづくりの展開を								みんな: No.7(1-7) No.15(2-1),No.17(2-3),No.18(2-4),No.22(2-8) 子育て、ひとり暮らし高齢者対策等
105	5-12	産業	持続可能な暮らしを支える再生可能エネルギー産業の創出								
106	6- 1	環境	自然エネルギーの活用(早期の実現、実施に向けて)								(産業) 環境技術の開発、実用化
107	6- 2	環境	地球に優しい生活スタイルへの転換								(産業) 環境技術の開発及び、(まち) 自転車道の整備
108	6- 3	環境	自然エネルギー活用の電力地産地消循環型モデル地区づくり								(生・共と協働) 町会・自治会 (まち) 歩道の整備など
109	6- 4	環境	自然エネルギー債(市債)の発行による財源確保								(協・分) 債券の発行 (生・共) 自治会 (まち) 施設 (産業) 環境技術
110	6- 5	環境	里山の保全・活用の推進								(協・分) 市民との協働 (生・共) 福祉と関連 (教・学) 自然学習の場とライフスタイル (産業) 資源の活用 農産物・雑木林
111	6- 6	環境	高尾山の自然と景観を守る								(協・分) 市民との協働 (教・学) 自然学習の場 (まち) 八王子のシンボル (産業) 観光との連携

一連No.	分科会ごとの整理番号	分科会	提言件名	関連する他分科会						調整方針	共通すると考える理由
				みんな	生・共	教・学	まち	産業	環境		
112	6- 7	環境	市街地における緑環境の充実を推進する							(協・分)市民との協働 (生・共)福祉と関連 (教・学)自然学習の場とライフスタイル (まち)生活環境改善	
113	6- 8	環境	生物多様性を高める都市環境づくり							(協・分)市民との協働 (教・学)自然学習の場とライフスタイル (まち)生態系のネットワークづくり (産業)林業・農業などの一次産業	
114	6- 9	環境	八王子みどり税の制度整備							(協・分)市民との協働、財政運営 (産業)企業の社会奉仕	
115	6-10	環境	水循環の保全と再生							(協・分)市民との協働 (教・学)自然学習の場 (まち)まちづくり	
116	6-11	環境	湧水の保全と再生							(協・分)市民との協働 (教・学)自然学習の場 (まち)まちづくり (産業)水資源を活用した産業(水、酒、てんぐサイダー)	
117	6-12	環境	河川環境の保全・再生							(協・分)市民との協働 (教・学)自然学習の場 (まち)まちづくり	
118	6-13	環境	遊べる川づくり							(協・分)市民との協働 (教・学)自然学習の場 (まち)まちづくり	
119	6-14	環境	市民の活動力を活かした環境学習							(教・学)学校教育と生涯学習の視点から取り組む必要がある	
120	6-15	環境	縦割り行政から、地域住民の視点に立ったワンストップサービス(窓口でどんな相談にも対応する)を提供する							(協・分)公共と協働の窓口対応サービスの向上の視点から取り組む必要がある	
121	6-16	環境	八王子らしさを活かした人と地域の育成							(教・学)学校教育と生涯学習 (まち)八王子らしいまちづくり (産業)「八王子の特産品/文化資産をいかす産業」	
122	6-17	環境	地域の住民と連携した体験重視の環境教育を推進する							(生・共)生活と共生の視点 (教・学)学校教育と生涯学習の視点から取組が必要	
123	6-18	環境	緑豊かなごみゼロのまちづくり - 市民活動/市民マナー向上 -							(教・学)学校教育 (まち)「美しい街づくり」の視点からの取り組み	